

# 「2つの気候変動対策」 どちらも欠かせません！

気候変動には、もうひとつ大切な対策があります。それは、気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出を抑える「緩和」です。影響に備える「適応」とともに、どちらの努力も続けることが大切です。

**緩和** (かんわ) 原因を少なく  
省エネ・省エネ家電の普及  
再生可能エネルギーの活用  
CO<sub>2</sub>を地中に注入して閉じ込める  
森林を増やす

**適応** (てきおう) 影響にそなえる  
水分補給で熱中症予防  
堤防を高くして災害から守る  
高温でも育つ農作物の品種開発や栽培

「緩和」と「適応」2つもおぼえてね！

水不足にそなえて節水・雨水利用などの工夫をする  
感染症予防のため虫刺されに注意する

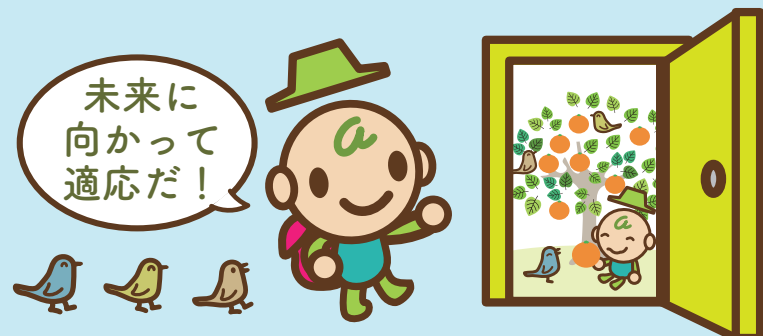
私たち一人ひとりができる「緩和」の取組は、地球温暖化対策アプリ「クルポ」で！  
ここからダウンロード

# 「適応」が創造する新しい社会

「適応」は、気候変動によって生じる新たな被害、大きな災害に備えるための対策といった側面が多いことも事実です。一方で、例えば企業にとっては、気候変動による様々な影響に積極的に向き合うことにより、社会に役立つ新たなビジネスを生み出すことができるという可能性もあります。

また、日本の「適応」に関する新しい技術開発や取組は、気候変動による影響がより深刻な他の国や地域への貢献にもつながります。

私たち一人ひとりが「適応」について、理解を深め、行動していくことは、日本の未来の世代のために必要なことであると同時に、世界中の人たちにとっても大変重要なのです。



静岡県の気候変動の影響への適応についての情報を提供しています。  
静岡県環境政策課ホームページ  
<http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-030/earth/tekiou/tekiou.html>



「目で見える適応策」静岡県版 企画・編集：静岡県くらし・環境部 環境局 環境政策課 2019年10月1日  
「目で見える適応策」オリジナル版 企画・編集：国立環境研究所 気候変動適応センター / 協力：みずほ情報総研株式会社  
気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT) [www.adaptation-platform.nies.go.jp](http://www.adaptation-platform.nies.go.jp)

# 未来のために今はじめよう！ 気候変動の影響への「適応」

目で見える  
適応策  
静岡県版

気候変動によって、以前よりも今の方が暑くなって（地球温暖化）いたり、雪の降り方が変わってきたりしています。また、近年、短時間で降る大雨が増えてきたと感じている方も少なくないのではないのでしょうか。

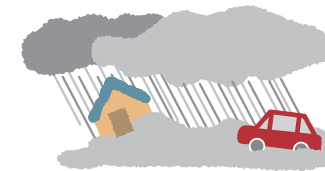
暑さが厳しくなった



雪の降り方が変わってきた

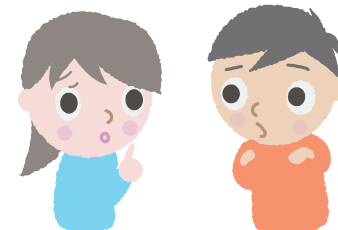


短時間で降る大雨が増えてきた



こうした気候の変化は、私たちの食べる物やみなさんの健康などにも様々な「影響」を与え、しかも、その「影響」が今後、さらにひどくなっていくかもしれないのです。

今までいなかった病気を媒介する虫が棲み付くようになるかも…




農作物の品質が下がり、収量が減るかも…



では、どうしたらいいのでしょうか？



その答えのひとつが、気候変動の影響への「**適応**」です。

「適応」とは、気候変動の影響にあらかじめ備え、社会の仕組みや、一人ひとりの生活のあり方を変えらることなどを言います。

### 例 1 食を守るための「適応」

気温の上昇や強い日射によって、お米や、リンゴ、ミカン、トマトなどの農産物に品質低下という影響が既に現れています。高温に強い品種に変えたり、暑い時期から作付け時期を調整したり、貯蔵方法を工夫することなどが影響への対策、「適応」といえます。



### 例 2 気象災害から暮らしを守るための「適応」

大雨による河川や下水道の氾濫、高潮などにより生じる浸水被害を防ぐためのインフラ整備や、いざという時に安全に避難するための警戒体制の強化をすることも被害を減らすための「適応」といえます。

私たち一人ひとりが、天気予報を確認したり、静岡県防災アプリを使ってハザードマップ(洪水被害予想地図)や避難経路を確認し、気象災害に備え身を守る準備をすることも重要な「適応」といえます。



### 例 3 健康を守るための「適応」

気温の上昇により、熱中症で搬送される人の数が増えたり、病気を媒介する蚊の北上などの影響が出ています。

水分補給をこまめにしたり、エアコンを適切に使用することによって熱中症を予防したり、虫刺されに気をつけるなど、一人ひとりが自身の健康を守るために行動することも「適応」なのです。



## 取組みは既に始まっている！ 「**適応策**」はすぐ近くにもある！



実は、「適応」は身の回りでも既に取り組みられています。行政(国、県など自治体)が行うものもあれば、企業や個人が行えるものもあります。みなさんも知らない間に「適応」を行っているかもしれませんね。



他にもまだまだたくさんの「適応」があります。これから新しく生まれる「適応」もきっとあります。

※ここでの要因は気候変動に関連するものを一例として挙げています。  
※このページの情報は2019年時点のものです。今後内容が変更する可能性もありますので、ご了承ください。

このマークのあるものは、個人の方にも行っていただける「適応」です。